



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2015年5月19日

2014-2015/40

Vol.36

No. 1740

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くばり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

本日、第11回定例理事会を開催致しました。その報告を発表いたします。

- ・年度末家族親睦例会について、後程中奥親睦活動委員長より発表があると思いますが、承認致しました。
- ・4月家族親睦例会決算について、承認致しました。
- ・来月の情報集会について、後程副会長より発表がございます。
- ・6月例会スケジュール等について。これは後程幹事報告がございます。
- ・事務所移転について、南都銀行大宮支店が耐震問題で建て替えをされることと決定され、我々の事務所は本当に残りたかたのですが、国の指導等もありまして、我々の団体が銀行の中に入るということは認められなくなります。そこで、次年度の幹事と現幹事で場所の選定をして頂いております。来月の理事会に於いて承認した上で、そこへの事務所移転を進めたいと考えております。

委員会報告

職業奉仕委員会：石野委員長

いま、毎月「月刊朝礼」を55名の方に配布をさせて頂いておりますが、6月いっぱいまでは無料で配布しておりますが、見て頂いている方はたぶん朝礼等に使って頂いているのではないかと思います。今年度の職業奉仕の一番大きな奉仕の中で「三方善の経営」を挙げさせて頂いております。その「三方善の経営」の参考になる「月刊朝礼」を毎月朝礼等に使って頂いたら良いかということでさせて頂いておりますが、6月で配布は終了です。次年度も、まだ続けて頂きたいという方がおられると思います。実際一冊600円ですが、今、250円程で仕入れております。1年間12冊で2,900円になりますが、7月からまだ続けて欲しいという方がおられましたら、申し込みを回覧しますので、是非申し込んで頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

例会プログラム

第41回5月19日

通算1740回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「茶つみ」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
奈良県教育振興会
会長 吉井弘侑様
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第40回 5月12日

通算1739回

- ◎会員数 78名
- ◎出席規定免除者数 1+25名
- ◎出席義務者数 52名
- ◎欠席者 11名
- ◎出席者 56名
- ◎出席率 83.58%

第38回 4月26日

通算1737回の修正

- ◎会員数 79名
- ◎出席規定免除者数 1+25名
- ◎出席義務者数 53名
- ◎欠席者 18名
- ◎補填者 11+16名
- ◎出席者 73名
- ◎出席率 97.33%

親睦活動委員会：中奥委員長

・先ほど会長から報告がありましたが、理事会で年度末家族例会の件が承認されまして、6月21日（日）会場は奈良ホテル大和の間で17時30分より行います。本年度発足しましたワイン同好会と合同で、ワインを中心にした企画でやろうかと考えております。ただ、ワイン以外のお飲物もごございますし、お酒だけではなく小さなお子様にも楽しんで頂けるような企画も考えますので、是非ともご参加をお願い致します。案内はご自宅に来週にでも発送致します。出欠は来週から回覧致します。どうぞよろしくお願い致します。

・親睦ゴルフコンペのご案内です。6月26日（金）～27日（土）に遠征で、兵庫県の大宝塚ゴルフクラブに行きまして、宿泊をエクシブ有馬離宮でしようと考えております。大宝塚ゴルフクラブは奈良からも比較的近いですし、どちらか一日でも結構ですし、宿泊と1日だけでも結構です。こちらの方は今日から回覧致します。多くのご出席頂きますようお願いを致します。

・日本ロータリー親睦ゴルフの案内が来ております。北海道であるということです。日にちは6月22日（月）ということで先ほどご案内した家族例会の翌日の月曜日です。たまたま北海道に行かれる方もいらっしゃるかも知れませんが、回覧させていただきます。よろしくお願い致します。

クラブ管理運営常任委員会：植村委員長

本年度第3回、最後になります。情報集会を開催致します。詳細については本日皆様の状差しに入れておりますので、ご確認下さい。テーマは「本年度の反省と次年度に向けて！」ということです。6月9日（火）例会が休会になりますので、6月8日から5日間にわたって開催したいと思います。場所は奈良ホテル、志希、萬佳、物集女、桃谷楼ということでございます。班長様にも連絡済みですので、詳細については、各班長様、副班長様、よろしくお願い致します。メーキャップ扱いとなりますので、是非多数ご参加頂きますようお願い致します。

高野副幹事

・5月23日信貴山「十三屋」で次年度委員長会議を開催致します。今日ご案内を状差しに入れてさせて頂いております。私の方で出欠と、集合が15：30学園前南口ロータリーということになっておりますが、そちらにお集まりいただけるかどうかお問い合わせさせていただきます。

・本日〆切ということで、委員会の方針を出して頂きたいということになっております。まだご提出頂いてない方は、大至急ご提出頂きますようお願い致します。

・本日例会終了後、桐の間に於きまして、次年度理事会が開催されますので、次年度の理事役員の皆様はご出席頂きますようお願い致します。

RID2650：北河原ガバナー

本来ならば福本実行委員長がおられるので、実行委員長からご説明頂くのが筋ではあるかと思うのですが、ご承知の通り、6月19日RID2650のロータリーデーが開催されます。地区内各クラブにも御依頼文やら協力のお願ひも出させて頂いております。またご協賛を頂く先にもご協賛のお願ひもして頂いておりますが、当クラブに於きましては、幹事クラブという訳でいろいろとお世話を頂く訳ですが、またチケットの購入等々のご支援・ご協力お願ひの文書を本日状差しに入れて頂いておるようですので、是非皆様のご支援・ご協力をお願ひしたいと思います。これが今年度最後の大きな地区としての行事だろうということでございますので、よろしくお願ひ致します。

幹事報告

・6月の行事予定を状差しに入れました。概況報告にある予定から若干変更になりましたので、これをご覧頂いて、スケジュールを確認してください。特に休会や振替など、例会の無い火曜日がありますので、お間違えないようお願い致します。それから、30日の友愛例会前にクラブ協議会が開催されます。これはあくまでも、次年度のガバナー訪問に備えてのクラブ協議会ですので、次年度の各委員会の活動方針を発表いただくこととなります。詳細については決まり次第、次年度幹事から、報告ありますが、16時～奈良ホテルに於きまして、友愛例会前にクラブ協議会があるということで付け加えておきます。

・本日お配りしたガバナー月信には、北河原ガバナー、飯田地区大会委員長、福本会長の文章が、また、ロータリーの友34ページには、北河原ガバナーの文章が掲載されています。ご自宅に帰られてから、じっくりとお読みください。

春日山原始林を未来へつなぐ会 会長 遊津 隆義 様 「地球温暖化の現状から春日山原始林を考える」



ただ今ご紹介頂きました、春日山原始林を未来へつなぐ会の遊津と申します。私は2001年に少し早めに現役を卒業させて頂き、ストップ温暖化活動を十数年やっています。今日は、春日山原始林がメインですが、十数年温暖化防止をやっけてきて、常に温暖化問題から色々な森林、原始林を眺めてきましたので、グローバルな地球温暖化と、ローカルな春日山原始林と、少し雑駁になるかも知れませんが、お話しさせて頂きたいと思ひます。

はじめに、地球温暖化の現状です。これは、横軸が1000年から2000年までの地球上における気温変化です。テレビ等でご存知だと思いますが、1900年ぐらいまではずっと、温度は一定か、むしろ下がっておりましたが、1900年以降は急激に上がっています。実は、この原因について色々な議論がありましたが、昨年、IPCC第5次報告書という、世界の3000人以上の科学者が集まって出した結論として、その原因は、人間活動による化石燃料の使用、それによって出るCO₂をはじめとした温室効果ガスの影響であるということが、ほぼ95%以上の確率で断定されました。1880年ぐらいから130年間ぐらいでどれだけ温度が変わったかを見ますと、約0.85℃上がっています。0.85℃という非常に少ないように思ひますが、地球規模でございますので、かなりの値と言えます。それで、この温度を、これからどれだけ温度上昇を下げるかということですが、このまま放っておくと、そのレポートによると、4.8℃ぐらい上がってしまうということです。もちろん、最小限に抑えた場合には、その下のレベルで抑えられるということで、これで0.3℃ぐらいということ。今申しましたような、IPCC第5次評価報告書というのが2013年から出まして、最終、2014年の年末に、統括報告というのをあげまして、気候変動の科学的根拠、今言いましたようなところ、影響とか、どう備えるか、あるいはこれからCO₂をどう減らすかと、そういうようなあらゆるものが書かれて、報告されております。その中には、いわゆる温暖化は疑う余地がないということで、それと人間活動が支配的な原因であると。あるいはCO₂の排出量と平均気温がほぼ比例関係にあるということが明確に示されています。気候変動は、もちろん、地上だけではなく、海洋にも及んでいます。平均気温が、このままいくと、もちろん4.8℃というのはほとんど壊滅状態になりますので、約2℃をキープしようというのが世界の潮流といひますか、一つの約束事です。そうすると、その下に書いてありますように、大体2050年に40～70%ですね、ほぼ半減、そして今世紀末にはゼロベース、その辺に持っていかなければならないということです。これもまた色々な科学者が最近ではデータを出してしまひて、いわゆる環境対策を先にやればやるほど、経済的にメリットといひますか、経済的負担が少ないというのが明確に出ています。これは、昨年あたり、よく目にされたと思ひますが、これがCO₂の濃度なのですが、1986年から2012年までは、このようにどんどん上がっています。これが先程の温度とマッチングしているということで、400ppmを超えたという話を、よく新聞等で目にされたかと思ひます。これを簡単に模式図でご説明させていただきます。いわゆる工業化前、それで280ppmぐらいの大気中の二酸化炭素でした。その後、工業化が始まって、エネルギーをどんどん使うことによって、この蛇口からCO₂が中に満たされると。年間72億トンという値が出されまして、一部は森林や海洋に吸収されるということで、31億トンが自然吸収されると。約41億トンが毎年ここに蓄積されていくわけ。で、約2ppmですが、これがどんどんこの280に足されまして、現在、400ppmまで来ましたよ、ということです。これは後で申しますが、影響を考えると、2℃以下というのが一つの世界の潮流と申しましたけれど、それでいくと、2℃の限界が、大体多めに見て、550ppmというのが示されています。そうすると、これを単純に割ると、75年とか、場合によっては500ppmという科学者もいるので、孫の世代には確実にそれが起こってくるというのが現状です。そういうことで、かなり危機的な状況だと言えます。ご承知のとおり、京都議定書というのが2012年まで続いていました。これは、日本がリーダーシップをとって、世界の一つの目標というのを決めてやってきたわけですが、それが切れた後、実は、今、まだそういう目標が定まっています。それで、また、これも今、新聞等のマスコミ等で言われている、日本がどれぐらいの値を思い切って出せるのかと、これは思い切ってというような簡単なものではないのですけども、今、米国とか他のところは大体こうやって決定していると。一部、まだ大分抑えたようなところも出ていますが、大体この7月までには日本としても、世界に対して、リーダーシップがある程度とれるような値を出してくれることを、我々は望んでいます。ということで、それで一体何が起こるのかということ、まず、簡単などころで、熱中症です。暑いということです。熱中症で、今、世界で年間数万人が亡くなっています。日本でも去年1700人ぐらいでしたか。私も含めて65歳以上の高齢者が一番亡くなりやすく、そういう面では、たかが熱中症というようなものではありません。正に今、台風が来ようとしています。台風の数は多くなっているのではありません、いわゆる大きな台風が来るということです。これは最初に言いましたように、地上の温度も上がっているのですが、海水温も上がっているのです。今回も、今、台風6号が来ていますが、もちろん赤道付近で発生し、台風というのは27

度以上の温度になって初めて出来るわけですが、この辺をずっと通ってきて、日本に来る訳です。今現在、日本の近郊の海水温が低いので、それによって台風はだんだん小さくなっていきます。だから現在、もう990hpということで、かなりの温帯低気圧に変わっています。これが、夏はそうは行かず、海水温が28度とか、この間もバヌアツでしたか、南太平洋で大きな台風がきて、大きな被害が出たのですが、これは風速が80mとかですね、その時に、台風の大きさは、一つは中心気圧なのですが、それが大体、今回の6号とかで930hp、この辺でも結構大きいのですが、それが890hpだったのです。もう驚異的な値です。どんどん温暖化が進むと、巨大な台風が来るということが、かなり明確に言われています。もう一つは、膨張で海面が上がってくるということで、海面上昇と言うことで、それに加えて、南極とか北極とかグリーンランド等の海氷が解ける、それに伴い嵩上げがあるということがありまして、その辺と、最近、高潮とかいうことで、高潮の時に海面も上昇して、なおかつ台風が来ると、普通でも7mとか10mぐらいの高潮が起こるというようなことになっているのです。世界を見ますと、今お話ししましたように、台風、これは、アメリカではハリケーンと言われ、東南アジアではサイクロンと言われていますが、同じです。一方では、干ばつ、それから熱波です。怖いのは感染症で、デング熱等が昨年出ましたが、暖かくなると、マラリアとか、そんな蚊が媒介するようなものが現実のものとして起こっています。次のお話は、生態系にどれだけ影響が出ているのかということです。これは水産系の、漁業とかその辺の現状です。左の方の小さい図がありますが、日本近海の海面の水温を示しています。大体少なくとも0.73℃、多ければ1.72℃ぐらい海水温が上昇しています。それにより、例えば、真ん中の図は海苔の養殖の生産枚数と温度変化を示していますが、2℃ぐらい変化すると、半減してしまうという、これちょっと多いかもしれませんが、現実に、かなりシビアな値で、そういう水産系の漁獲量も少なくなると。右の方は、サンゴ礁でございまして、サンゴ礁は28℃ぐらいになると白化現象というのが起こります。サンゴ礁というのは魚の宝庫でして、そこには色々なエサもありますから、サンゴ礁が破壊されると、魚も獲れなくなります。サンゴというのは、いわゆる甲冑草という藻類と共生しておりまして、甲冑草から栄養素を取り入れてサンゴが生きています。その甲冑草が27℃、28℃になりますと逃げたしまい、サンゴは生きていけなくなって白化してしまうと、そういうことです。そういうのがどんどん、現在、沖縄とか奄美大島ではあります。あと牡蛎とかですね、海面の酸性化が、CO2がどんどん海面に吸収されますと酸性に変わりますと、それによって石灰化が遅れるということで、牡蛎なんかも大きくなれないという、もちろん漁獲量も変化してくるということで、いわゆる水産物の影響は現実に出ているということです。森林は後でまた出て参りますが、ブナやハイマツ等、ササ類等低層な植生が、どんどん分布領域が変わっています。先般、メルケルさんがドイツから来ていましたが、あの時に、ドイツ辺りのブナ林がかなり減ってきているということも言われていました。一方において、お米も、聞き及ぶところでは、温度が27℃、28℃になりますと、ちょうど、成熟期にそれが1カ月ほど続くと、白く濁ってしましまして、おいしくない米、売れるものにならないという、そういうことも起こってしましまして、現在、九州等の南の方はかなり深刻な問題、もちろん色々な対応はされているのですが、とても追いつかないということで、そのうちおいしいお米は東北あるいは北海道に行かなければならないという、そんなところも現実味を帯びてきております。奈良の方は、まだ影響は少ないと言いますか、感じ方は少ないのですが、桜の開花ですね、平均気温で、50年間で0.9度上昇しており、ソメイヨシノの開花が約50年間で6日早くなったというデータがここに示されています。一方で、イロハカエデなどは、逆に、紅葉が19日ぐらい遅くなっているということで、確実に温暖化が進んでいるということです。奈良県においては、奈良には海も近くにないので、影響は少ないのですが、一つには、奈良の鹿にも地球温暖化の影響がある、ということが新聞に載っておりまして、一つは、鹿あるいは猪の影響が非常に全国的に増えております。これは、一番には、オオカミ等の天敵がいなくなったと。それを殺す狩猟者の高齢化と後継者が少ないと。もう一つは温暖化によって積雪が減って越冬し、凍死する鹿の量が少なくなったということも影響しているということです。もう一つは、ちょっと行き過ぎた話なのですが、奈良において鹿苑で鹿の赤ちゃんが1週間早く生まれたと。これも温暖化の影響だと。これはちょっと、そうではないのでしょうか。そういう意味で、今現在、そういう鹿が、数日前も小さい鹿が鹿苑で生まれたと、非常にかわいいですから、テレビで皆見ていたと思うのですが、今、鹿が子供産んで喜ぶのは奈良ぐらいということでして、確かに、奈良の場合は、他県と違って、正に奈良の鹿は天然記念物ですし、もちろん神様ですし、正に奈良県の文化的シンボルと。鹿がいるから、あれだけ観光客が来て。これだけ生きた鹿が、間近で、手で触れられるというのは、ホンマに素晴らしいと私も思います。しかし、その一方で、奈良公園の芝がきれいというのは、鹿が芝を食べて常にきれいにしてくれ、芝を鹿が食べて、その糞をして、それをフンコロガシと言いますか、最近フンコロガシと言わないらしいですが、センチコガネムシですか、それが転がして行って芝の栄養分にして、その栄養分で芝が生えてきて、またそれを・・・、いわゆる食物連鎖の最たるもので、よく採りあげられるものです。ただ、自然循環のほとんどの生態系というのは、そういうような食物連鎖、いわゆる自然循環の中で、ある条件の中で、それが保たれて活かされると、そういうように思う訳ですが、その条件の一つが変わると、大きく変わってしまう、その大きな要因が、我々、もちろん多くの方が、温暖化も大きな要因であるということで、特に我々は、先程の数℃変わることによる生態系への影響を危惧してしまして、特に移動手段を持たない植物、特に高山植物なんかは、一番影響が大きいということにな

ります。現在、生物が地球上に誕生して36億年ぐらいです。で、その中で色々な進化を経て、約2000万種位の生物種があります。それらのほとんどに名前が付いていないのですが、170万種ぐらいは名前が付いていて、実は毎年その内の5万から15万種ぐらいが絶滅している。これは温暖化だけではないのですが、いわゆる山火事とか、森林破壊ですね、こういうのを踏まえて、その次に来るのが、先程の2°Cとか4.何°Cとか。4.何°Cぐらいになると、明らかにこういう所に大きな影響が来ますので、正にこれも、全く他人事ではなしに、すぐ目の前に来ていると。大体1°C変わると、高度で100m変わります。だから、1°C変わったら100m上に行かないと同じ生活ができない。例えば、緯度で言いますと、1°Cで100kmということ、だから同じように生活をしようと思ったら、100km北上しないと、同じ環境での生活、生存ができないということです。というように、色々な影響があるわけで、そういう中において、春日山原始林、一気にローカルな話になりますが、それがどうかというのが我々の一番の関心事でして、少し話させて頂きます。これが春日山原始林の全景ですけど、これもご承知のように、御蓋山の裏、東の方に原始林がひかえているのですが、少し歪と言いますか、真ん中の花山の少し奥の方に植林地帯があるようで、約300ha位の広大な、秀吉さん以外、1300年以上、なかなか人が入れなくしたということで、多くの貴重な多様な植生があると。シイとかカシとかですね、そういうような常緑の広葉樹林の照葉樹林というのが春日野原始林の一番の特徴でして、多数の、800種以上の、植生、草や木、多くの巨木があります。そうとこのころを含めて、すぐ横と申しますか、それが奈良市の中であって、これだけ都市部にあって、このような多様な原始林が保存されているというのが、これが世界に冠たるものでありまして、日本でも、屋久島あるいは野幌ですか、三大原始林と言われる所です。そういう所を踏まえて、1998年に世界遺産にも、古都奈良の文化財と同時に世界遺産にも指定されたところなんです。その中がどうなっているかということですが、生態系が大きく損なわれており、一言で言うと、脅すわけではないのですが、あと50年たないという有識者の意見もあります。その原因は、実は、温暖化はその後でありまして、温暖化以前のごく分かりやすい話なんです。一つは、原始林といきもの共生ということ、正に奈良の文化的シンボルの鹿と原始林の共存・共生ができていないということで、これはもう皆さんもご承知の通り、数が増え過ぎているということです。もう一つは、ナギ、ナンキンハゼが増え過ぎているということです。もう一つ、これは奈良県だけではなく、ナラ枯れですね、これが全国的に増えていますし、一応ピークは越したかなあということですが、まだまだ被害は拡大しているということです。鹿との共生のところで見ますと、先程の奈良公園もそうですけれども、他の公園とか森林と比べると、異様にきれい過ぎるということも言えるかもしれません。というのは、巨木とかは色々なものがありますが、その下の下草とか、実生というのですが小さい芽なんか、良く見たらほとんどない、あるいは小さい木もほとんど見えない。原始林に入って行ったらすぐにわかるのです。巨木とか非常に素晴らしいものがあるのですが、下見たら何もない。そういう意味で、非常に特異な状況が一望できるということです。これは下層植生ということで、下草等も一杯あったのが、鹿が食べてしまうという、もちろん猪もあるのですが、よって、土壌流出、横の傾斜のところ崩れてきたり、もちろん鹿も樹皮破壊、樹皮を背中で取ってしまう、樹皮剥しというのです。そういうものをあらゆるところに見かけます。これはもう1つの、ナギ、ナンキンハゼということで、ナギも神木であります。これも数が増え過ぎているということです。これはナギが悪いわけではありません。鹿がナギやナンキンハゼを食べないのです。ナギは、周辺の植物が大きくなるのを抑制するような効果があります。そういう意味で、ちょっと見たら、ナギとナンキンハゼだけ残っていて、他には何も残っていないというような状況です。ナギ林というのは全国的には非常に珍しいのですが、春日山原始林の特徴は、先程言いましたように、照葉樹林ですから、少し様子が変わってしまうということで、これも数量調整というのがやはり必要であろうと思います。次は、先程言ったナラ枯れです。これは全国的になったので、ただ、上がって頂きますと、ナラの周りが白くなっています。あとはここに書いてありますカシノナガキクイムシというのが樹皮の中に入って、木にも入って、殺してしまうんですけども、それが出ないようにするというものがあります。2、300本くらい、今年、やって行くのですかね、そういうのも出ていました。ということで、実は、我々のような凡人の一般人が何ができるのかということではありますけれども、県からの要請も受けて、昨年7月に、急ぎよ、この下にございますような、春日野原始林市民連絡会、これは野鳥の会とかそういう方が入っておられるのですけれども、観察とかその辺を専門にしたところでもあります。もう一つ、グリーンあすならということで、これは巨木、古木を育てていこうということで、再生がベースになる。それと、我々、奈良ストップ温暖化の会というのが、これは先程言いました、地球温暖化をベースにしながら、もちろん、森林保全というのが一番の問題でありますし、環境教育というものにも、これだけ都市のすぐ横に貴重な原始林がある訳ですから、それをもっと活用できないかということ、3団体が中心となって立ち上げたわけでございます。メインは、普及・啓発、それから保全・再生、人材育成。これはどこでもあるのですが、やはり、我々の団体も高齢化が進んでいまして、やはり人材育成、若い人に入って頂いて、そういう方を育てていくというのが非常に大事であります。まずは調査研究ということで、我々自身の目でこの状態を調査して、明確にしていこうということです。実際、これもやれる範囲がありますし、また、勝手に入るわけにはいきませんので、そういうところも、研修をしながらやっていくということです。それから普及・啓発。今までは触らせないと申しますか、触れないところを、もっと一緒に、知っても

らって、触れてもらって、参加して頂こうという活動をこれからやって行こうということです。ということで、非常に早口で、分かりにくかったかもしれませんが、まとめとして、一つは、温暖化問題はすでに加速的に足元になってきております。今度、CO2削減と言いましても、これを止めるわけにはいきませんから、どこまで抑えられるか、それと同時に、もうそろそろ揃えていきたいと思います。世界に誇る春日山としては、鹿と人と原生林、これがいかに共生できるかにかかっております。両方とも、我々ができる範囲は少ないかもしれませんが、しかし、じっと見ているわけにはいかないということで、市民参加して、出来ることをやって行こうということで、また皆さん方には色々な面でご支援ご協力を頂けたら有難いということで、非常に雑駁な説明ではございましたが、これで終わらせていただきます。有難うございました。

ニコニコ箱

本日計 28,000円 累計 2,587,600円

- 松岡嘉平治君 先日は地区より長寿寿齢賞を頂き誠にありがとうございました。
- 高木伸夫 君 結婚祝に美しい胡蝶蘭を頂き、誠に有難うございました。来年金婚を迎えます。
- 潮田悦男 君 結婚記念日のお花ありがとうございました。新地の花屋じゃないけれど、ゴルフもこの花にあやかりたいものです。
- 西本隆一 君 結婚記念日のお花ありがとうございました。おくれましたが、今もキレイに咲いております。
- 多田 実 君 中村様 先日はお世話になりました。
- 倉田智史 君 ニコニコ協力
- 西口栄一 君 ニコニコ協力
- 荒木政信 君 ニコニコ協力
- 弓場裕史 君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

5 月

- あすかロータリークラブ■
 - ・ 5月28日（木）・・・夜間例会の為、時間変更。
 - 時間：18：00より
 - ※ビジター受付：12：00-12：30まで榎原ロイヤルホテル
フロント横にて行います。
- 奈良西ロータリークラブ■
 - ・ 5月21日（木）・・・例会場変更。
 - 場所：奈良ロイヤルホテル「沙山華」
 - ※ビジター受付：会場の都合上、行いません。
 - ・ 5月28日（木）・・・平城京ロータリークラブとの合同例会
の為、例会場変更。
 - ※ビジター受付：同日17：30-18：00まで奈良ロイヤルホテル1F
フロント横にて行います。

6 月

- 京都山城ロータリークラブ■
 - ・ 6月10日（水）・・・新旧引継ぎ懇親会の為、時間変更。
 - 時間：18：00～
 - 場所：すい月
 - ※ビジター受付：6月10日（水）12：00-12：30まで
けいはんなホール1Fにて行います。

次回の例会

2015年5月26日(火)

新入会員卓話 國原 正記 会員